

富士山自然学校通信 9月号



【8月の行事より】

8月1日（月）会員集会

当初予定は、6月18日に行われた山中湖村教育委員会の講演会より「山中湖村の古道を検証する」のビデオ視聴でしたが、DVDディスクのトラブルで、急遽変更となりました。代わりに、同様の村の講演会で3月6日に行われた「鷹丸尾溶岩流はいつ山中湖を堰き止めたのか？」（富士山科学研究所・馬場章研究員）のビデオを視聴しました。



初めに富士山の噴火の仕組みについて、火山の模型を使った実験を交えながら説明。まず火山灰を伴ったガスが吹き出し、それが収まったあと溶岩が谷間の地形に沿って流れ出るとのこと。噴火年代を知るには、①地層、②放射性炭素からの年代測定、③古文書の記述、④地磁気の測定がある。最近注目されているのが地磁気の方位変動で、溶岩中の磁鉄鉱に記録されている地磁気を測定することで年代が推定できる。山中湖に流れた鷹丸尾溶岩流の地磁気測定では、古文書に記されていた800年～802年より古い630年頃から700年頃にかけて4回の溶岩流出が確認できた。現在の山中湖は630年頃に鷹丸尾溶岩流で桂川が堰き止められて出来た。桂川流出地点の梁尻での発掘調査で、溶岩の厚さは約4mあり、山中湖の湖水面は現在より3mほど高かったと推定される。その結果、平野方面では湖沼域が広く、古道のルートにも影響していたようだ。

以上が講演の要旨ですが、会場では映像・音声ともに判読しにくい状態だったのが残念です。参加者は8名でした。

8月3日（水）忍野草原散策（会員観察会）

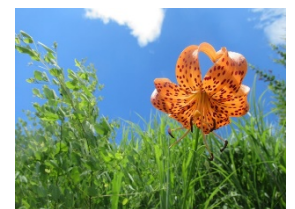
忍野草原は、花の都公園から忍野方面を眺めた時に緑色が目立つ草山で、観察会として散策するのは初めてです。この日は富士山も良く見える夏空が広がっていましたが、前日に続いて山中湖村で最高気温が過去最高と並ぶ33.6度を記録した猛暑にも見舞われました。



忍野村役場駐車場に13名が集まり、車3台で鳥居地峠に向います。峠にはオレンジ色の**フシグロセンノウ**や薄紫の**シデシャジン**が咲いていました。ここから約20分ほど林道を上っていく

と、視界が開け草地に出ます。少し進むと忍野村と富士山を一望する広場です。ここで富士山をバックに集合写真を撮りました。辺りは**カワラナデシコ**、**コオニユリ**、**フクシマシャジン**、**ウツボグサ**、**カセンソウ**、**キキョウ**など色とりどりの草花が一杯です。ここから更

に上っていくと道の途中にも**タカトウダイ**、**タチフウロ**、**オカトラノオ**、**オミナエシ**、**ヒルガオ**等が見られました。二つ目の広場に着いたところで引き返しましたが、沢山の花に会え、満足出来たのではないのでしょうか。



* 8月7日（日）みさき散策コース（山中湖エコウォーク）は申込み少数のため中止になりました。

8月21日（日）大平山ハイキングコース（山中湖エコウォーク）は雨天のため中止になりました。

【9月の予定】

9月3日（土） 明神山ハイキングコース（山中湖エコウォーク）

集合場所：きらら 管理棟

集合時間：午前9時半（14時頃終了予定）

9月5日（月） 会員集会

集合場所：旭日丘公民館

集合時間：午後1時30分

話題提供：山下さん「花いろいろ」

9月14日（水） 幕岩～双子山（会員観察会）

集合場所：道の駅・須走

集合時間：午前9時半（15時頃終了予定）

御殿場口五合目まで車で移動し、幕岩までは樹林の中の緩やかな道を上ります。

幕岩からはやや急な斜面を上り、見晴らしの良い双子山（下山のみ）へ。

最後は火山灰の砂礫地を下って御殿場口五合目に戻ります。

9月25日（日） 大洞山ハイキングコース（山中湖エコウォーク）

集合場所：旭日丘駐車場（セブンスイレブんとエ材の間）

集合時間：午前9時半（14時頃終了予定）

→参加される方は、2日前までに事務局へご連絡下さい